

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -19

4-
-19

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	パークアンドライド等多様なアクセス方法の検討
	節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	19 パークアンドライドなどの推進		事業主体	佐渡市交通政策課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	【事業目的】 人や車の動線を考慮し、パークアンドライドなど多様なアクセス方法により、渋滞等を防ぎ、住環境を守るとともに、来訪者の円滑な移動を図る。			
	【事業内容】 需要・渋滞予測を踏まえ、相川地区循環バスや鶴子銀山、西三川砂金山へのシャトルバス等を活用したパークアンドライドの推進を図る。 まち歩きツアーや電動アシストレンタサイクル等による構成資産へのアクセスの多様化を図る。			
⑭事業計画と実績	【29年度計画】 パークアンドライド実施に向け、相川観光循環バスの実施、西三川・鶴子への運行及び渋滞予測資料を元にした検討を進める。			
	【29年度実績】 佐渡金銀山ガイダンス施設に関わる市関係課調整会議を開催し、構成資産の公開範囲や誘導方法等について基本的な考えを関係課で共有した。			
課題・今後の取組	【課題】 シャトルバスの運営や委託事業者の選定方法、関係機関(佐渡地域振興局他)との調整等、パークアンドライド実現に向けた具体的な検討を進める必要がある			
	【今後の取組】 パークアンドライド実施に向け、ガイダンス施設を起点に、ルート、駐車場までの運行内容について、関係団体と協議する			
事業評価	【事業の達成度】 計画どおりに事業が進んでいることから、B評価とした。 { a・b・c }			
	【事業実施の効果】 { a・b・c }			
	【総合評価】 { A・B・C }			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。